

## クルーズ誘客拡大へ 台湾旅行社を招請



7月7日、MSCベリッシマの油津寄港を楽しみにしています。乗船客のアンケートの結果も注目しています。

海外誘致部 部長 鷹取 善昭



(上) 細島港の見学 (下右) 宮崎空港で一行をお出迎え (下左) 日南市での意見交換会の様子

12月5日から8日までの4日間の日程で、台湾の旅行社9社、11名を招請しました。この招請は、台湾を発着する訪日クルーズや日本発のクルーズによる台湾からの訪日クルーズ旅客（航空機で来日して日本発クルーズを利用する外国人）を拡大させるため、県内関係団体と連携して実施したもので、宮崎市、延岡市、日南市、日向市を訪問し、港や観光等を視察し関係者との意見交換を実施しました。

本年7月7日には、台湾からアジア最大のクルーズ船「MSCベリッシマ（総トン数171,598トン 乗客定員 4,386人）」の油津寄港が予定されていて、更なる寄港拡大を図ってまいります。

## 全国の旅行会社を招聘 FAMツアーを実施



今後宮崎に誘客を図れる充実した旅行コースの造成につなげられるよう、当協会としてもフォローしてまいります。

国内誘致部 部長 荒川 政之



日南市飴肥の城下町を散策

1月22日、23日の2日間、阪急交通社、名鉄観光サービス、ANAXなど全国から旅行会社の商品開発担当者21名を招聘しFAMツアーを実施しました。

今回のツアーは、これまで開催してきた九州観光コンテンツ商談会等で「宮崎の知見を広げたい」、「FAMツアーがあれば行ってみたい」等といった声が多かったため、これまで商談会に参加された方々をはじめ、宮崎に支店を持つ大手旅行会社に呼び掛けて実施したものです。また視察に



歓迎 旅行者様招請FAMツアー 御一行様 公益財団法人宮崎県観光協会

加えて宮崎の観光関係者との交流を深めるべく、商談会と懇親会も開催しました。

ツアーの参加者は入社10年目以下の方々がほとんどで、約3割が初来県でした。これまで自身が体験したことのない宮崎旅行の行程を作るのはかなり大変だったようで、参加者からは実際に見て、聞いて、歩いて知見を広げることができ、加えて商談会や懇親会において他業種の方々とも交流を深めることもでき、とても実のあるツアーとなったのご意見をいただきました。

(左) 懇親会にて記念撮影。宮崎の食材も堪能しました。

## 新たに入会いただいた 賛助会員を紹介します

### 北郷 音色香の季 合歓のはな

代表者 細元 啓吾  
所在地 日南市  
1万坪の杜に佇む、全10棟の露天風呂付き離れの湯宿です。心に残るひとときをお過ごしいただけますよう努めております。

### ジョルダン株式会社

代表者 佐藤 俊和  
所在地 東京都新宿区  
お得な乗車券を購入、決済、利用までスマートフォンで完結する「ジョルダンモバイルチケット」を展開、各種乗車券をご案内いたしております。

【発行】公益財団法人宮崎県観光協会 総務企画部  
〒880-0811 宮崎市錦町1番10号  
宮崎グリーンシアター番館 (KITENビル) 3階  
TEL:0985-26-6100  
FAX:0985-26-6123  
info@kanko-miyazaki.jp



何極! NANGOKU! みやざき 宮崎県観光協会 ニュースレター Miyazaki Prefecture Tourism Association News Letter

令和 8/3月 (12日)

皆様には日頃より当協会の事業・取組につきまして御理解・御協力をいただき感謝申し上げます。最新のニュースレターをお届けします。御一読いただけましたら幸いです。

## 侍ジャパン春季キャンプ 宮崎を全国へ発信



スポーツキャンプで盛り上がるこの時期に、宮崎の素晴らしい景色や美味しいものを発信し、また宮崎に行きたいなと思ってもらえるよう頑張ります。

国内誘致部 主任 藤山 麻美

「2026WBC（ワールドベースボールクラシック）」に向け、野球日本代表「侍ジャパン」が、2月14日から24日まで、ひなたサンマリンスタージアム宮崎で強化キャンプを実施しました。本県での事前合宿は、世界に輝いた前回大会に引き続き実施されたもので、期間中には約20万人の観客が訪れ、2月22日、23日に行われた福岡ソフトバンクホークスとの練習試合も多くの観客で賑わいました。

侍ジャパンの春季キャンプ中、「何でも極上!デジタルスタンプラリー」の「侍ジャパンコース」を開催。その場で賞品が当たるルーレット方式とし、429名の方がルーレットに参加しました。また、侍パークブースを訪れた方に、インスタグラムでキャンプ風景を投稿していただき、宮崎キャンプの盛り上がりを全国に広く発信しました。



(上) 県産品贈呈の様子 (下) 賑わいを見せる侍パークブース

## 本県初！ラグビーリーグワン 1部リーグ公式戦開催



今後とも、本県のスポーツ環境の優位性を生かして更なる合宿等の誘致に取り組んでいきます。

スポーツランド推進部 係長 村脇 寿彦



試合の様子。激しい戦いが繰り広げられました。

2月14日、県陸上競技場「KUROKIRI STADIUM」において、ラグビーリーグワン1部リーグの公式戦（浦安D-Rocks VS 東京サントリーサンゴリアス）が県内で初めて開催され、約4,100名の観客に御来場いただきました。トップチームのスピードや音が聞こえる程のタックルを間近に観ることができ、トライ時には大きな歓声が起こりました。5月9日には、同会場で2部リーグの九州電力キューデンヴォルテクスの公式戦も開催されます。是非会場へお越しください。

## 観光人材の発掘、育成 観光みやざき創生塾



今後とも本県観光を担う人材の発掘・育成に取り組んでまいります。

国内誘致部 主事 奥松 慧士



12月16日に、県電ホールにて今年度の「観光みやざき創生塾」修了式を行いました。この塾は、本県観光を牽引する人材の発掘・育成と、観光人材同士の強固な連携づくりを目的として、8月から12月までの日程で県内外の観光地づくりのエキスパートを講師としてお迎えし、実施したものです。  
カリキュラムは、基礎コースが講義6回、フィールドワーク2回、実践コースが講義9回、フィールドワーク2回で、両コース合わせて38名が全課程を修了しました。  
修了生の皆さまが、塾で得た知見やつながりを生かし、各地域・各分野でさらに活躍され、本県観光がますます活性化されることを期待しています。



本県観光の現状と取組についての講義の様子



綾町で行ったフィールドワークの様子  
(左)今年度の修了生たち。知事、会長、根岸・宮崎大学地域資源創成学部長(塾長)らとともに

## 県自転車競技場 リニューアルオープン

全国トップクラスのトラック競技場に生まれ変わった施設を有効活用するため、積極的に合宿誘致に取り組みます。



セレモニー後には知事、パラリンピック代表選手、鹿屋体育大学の選手、小・中・高校生等が参加し、記念すべき初走行を行いました。

1月31日、国スポ・障スポに向け、新たに自転車競技場「ひなたベロドローム宮崎」がひなた宮崎県総合運動公園内に完成し、オープニングセレモニーが行われました。  
これまで最大で31度だった走路の傾斜が33度となったほか、全日本選手権大会等で主流の333メートルバンクとなるなど、より競技

性の高い施設となっており、今後、トップチームの合宿や大会誘致を行っていきます。  
早速、2月11日から14日まで、県内初となるプロチームの合宿が行われ、競輪のトッププロ選手が練習を行いました。

このコートは、同協会の山西名誉会長が、「日本で最も世界基準に近い」と評したコートで、3月に男子国際テニス大会ATPチャレンジャー大会が開かれることになっており、この地で行われる国際大会への期待が高まっています。

12月8日から18日まで、「ひなたTENNIS PARK MIYAZAKI」でJTA(日本テニス協会)冬季男子強化合宿が行われました。  
JTAの本県での合宿は初めてで、合宿には錦織圭選手をはじめ国内男子のトッププロや若手選手14名が参加しました。



選手達には宮崎牛15kgが贈呈されました。



人気選手を一目見ようと多くの観客が詰めかけました。

## 宮崎のMICE環境をPR 国際MICEエキスポ参加



宮崎への経済波及効果を高めるため、国内最大規模のビジネス商談会に参加し、国内外からの各種会合などの誘致に取り組んでいます。

MICE推進局 局長 野尻 政嗣



本県ブースで、本県のMICE開催環境について説明を行いました。

2月12日に東京国際フォーラムで開催された第35回国際MICEエキスポ(IME2026)に参加しました。今回は外国からのバイヤーも多く参加されていて、まず宮崎を知っていただくことから始め、本県でMICEが開催される場合の支援内容や観光情報等もPRしました。

大都市以外の場所での会議開催を検討されているところも多く、本県での開催に向け関心を持っていただきました。今後も様々な形で宮崎の魅力や各種情報を伝えてまいります。

## 世界へ向けた一歩 チェコ代表宮崎キャンプ



「スポーツ環境日本一」の実現に向けてこれからもキャンプ地宮崎をグローバルに発信していきます。

スポーツランド推進部 主任 比江嶋香織

WBCチェコ共和国代表チームが三股町でトレーニングキャンプを実施しました。選手たちは温暖な気候のもと守備練習や実戦形式の打撃練習、コンディショニング調整に取り組みました。地元チームとの野球教室も行われ、地域との交流イベントも盛況となりました。子どもたちにとっては、ヨーロッパ野球を身近に感じる貴重な機会となりました。



## ユニバーサルツーリズム 促進セミナー開催



ユニバーサルツーリズムが多くの方に周知いただけるよう、積極的に取り組みます。

国内誘致部 主任 松本 和枝



パネリストとしてご登壇いただいた方々

1月20日、えびの市で「ユニバーサルツーリズム促進セミナー」を開催しました。  
今回のセミナーは『心のバリアフリーから始まる宮崎のユニバーサルツーリズムの推進』をテーマに真北聖子・宮崎ユニバーサルツーリズムアンバサダーの他、県内の行政、宿泊施設、旅行会社等の関係者の方々をパネリストとしてお迎えし、ディスカッション形式で行いました。  
パネリストの方々はそのそれぞれの立場からお話をいただき、約60名の参加者は心のバリアフリーに関する認識を深めたようでした。  
当協会では、今後とも誰もが気兼ねなく参加できる旅行であるユニバーサルツーリズムを推進していきます。